

共に咲く



御幸中学校
3年学年だより
令和2年11月4日(水)
第15号

Be as one やり遂げたぞ、御幸祭!

生徒会が中心となり企画した「御幸祭」が先週無事終わりました。1日だけの、例年とは違う行事でしたが、一人一人が役割を担い、まさに御幸中が一丸となってやり遂げた御幸祭でした。特に3年生は、どの場所でも率先して動いていて、とても頼もしく感じました。大変な状況の中でも、知恵と工夫で新たなことができると実感できたのではないのでしょうか。みんなの笑顔がたくさん見られた御幸祭。本当にお疲れ様でした。



緊張 < 楽しさ A組 T・K



私は今回の御幸祭で、たくさんの役割を果たすことができました。「保健委員」「サミット」「ダンス」「50m13秒チャレンジ」はじめはこんなにもやり遂げられるのかと、少し不安もあったし、緊張もしていました。しかし、いざ終えてみたら、すごくあっという間だったなというふうに感じました。私が特に心に残っているのはダンスです。元々ダンスが好きで、友達と踊ったりしていましたが、大勢の

前で本格的に踊るのは初めてだったので、すごく緊張していました。でも、一緒に踊った友達が支えてくれたので楽しく踊れました。ステージの上でパフォーマンスをしているときはもちろん緊張していたけど、それよりも楽しいという気持ちの方が大きくて、一時の不安な気持ちも忘れていました。私は、この御幸祭で、自分の殻を一つ壊せた気がします。今後、その取り組みの結果を活かせたらなおいいな、と思います。

忘れられない企画ができた B組 S・K

御幸祭を終えて、僕は50m13秒チャレンジの統括をして、係の人たちをまとめることができました。係では全員で協力し、企画の運営をしたり、準備をしたりすることができました。3年生として、自らアイデアを提案したり、仕事を探したりして、よりよいものにしようとすることもできました。最初は、全員をうまくまとめることができるか心配だったが、準備をしていくうちに、だんだんまとめられるようになった。本番の時は、人がたくさん来てくれて、とても盛り上がり楽しかった。来た人も笑顔だったと感じた。準備や本番はとても大変だったが、成功できたことにより、疲れがあまりなかった。コロナのときでも、協力することによって忘れられない企画ができることが分かった。この経験を生かしていろいろなことに挑戦していきたい。

御幸祭を終えて B組 A・K

御幸祭を振り返って、僕は成功したと思う。最初は、例年の文化祭がなくなり、本当に自分たちが企画して学校を引っ張っていきけるか不安だった。しかし、学校の皆で協力してよいものにしようと頑張ってくれたおかげで、とても良いものになった。一芸披露のダンスや歌、楽器演奏は、皆がとてもうまくて、練習したんだろうと思った。英語発表や意見文発表、保健委員会の発表などは、生徒全員が参加できるようなクイズを作ったり、自分が普段思っている気持ちや考えを話したりと、その発表への思いがとても伝わってきた。午後の生徒会企画では、皆が仕事をする事と企画を楽しむことと区切りがきちんとしていてすごいなと思った。中学校最後の生徒会活動はとても良い形で終わることができたので良かった。



最高の御幸祭 A組 K・H

今年の文化祭は去年と違い2日間だったのが1日だけになり、出し物も運動会のことにも含まれたものでした。ですが、何より去年と違ったのは、自分自身が文化祭の一部を企画することでした。理科実験の担当になってから、どんなことをしようかやどうしたら面白くなるだろうかを何回も考え、決めることができました。全く参考にするものがなく、はじめはとまどいしましたが、計画案を書いているうちにいろいろアイデアも浮かんできてとても楽しかったです。準備では自分たちで担当を分けて、それぞれ考えてポップや受付のデザインを作り、手が空いたときはほかの仕事を手伝うことができました。今年は去年よりも規模が小さくなりましたが、そのなかでそれぞれがそれぞれの仕事や役割をしっかりと果たしていたので、最高に楽しい文化祭になったと思いました。



人の役に立てた B組 H・H

御幸祭を振り返って思ったことは、自分が生徒会企画の時にかなり動けていたということです。1年生が何もできずにいるところをカバーしたり、困っている人を見つけたらしっかりと解決できるようにしたりと、かなり人の役に立てたと思いました。また、忙しかったけど楽しかったので、仕事をする人たちのやりがいというものが感じられたと思いました。生徒会のテーマのように、自分だけでなく他の人や係りのみんなが一つになって、御幸祭を成功させることができたと思いました。

御幸祭で学んだこと A組 K・G

御幸祭を振り返って学んだことが2つあります。1つめは成し遂げることの素晴らしさです。生徒会を中心にさまざまな企画が行われ、そのどれもが一生懸命作られていたので、スムーズに御幸祭が進行し、みんなが笑顔になれる、とても素晴らしいものになったと思います。2つめは練習の大切さです。自分たちははじめ、全く歌の練習をしていませんでした。本番一週間前まで、歌もメンバーも決まっていなかったという状況でした。このままでは失敗してしまうと思い、放課後や昼休み、朝も早く学校に来て練習しました。本番は成功しましたが、もっと前から練習していれば、もっとよいものになったと思います。次はこの経験を生かして前もって練習したいと思いました。

良い思い出に B組 N・A

御幸祭ではテーブルゲームを担当しました。オセロ大会・将棋・トランプなど、皆に来てもらえるように紙にデザインや文字を工夫して書きました。自分が思っていた以上に人が来て、とてもうれしかったです。御幸祭のコーナーでは、プラ板、ろうそく、スノードームを作りました。他にもたくさん行きたい場所があったけど、まわりきれませんでした。私が今でも心に残っているのは、一芸披露のダンスです。息ぴったりに合わせて踊っている姿はとても格好よかったです。友達の頑張りを見て、自分も頑張らなくちゃと思いました。



今年は、最初で最後の御幸祭だったけど、3年間の中でもとても良い思い出になりました。

達成感 B組 K・H

御幸祭で僕は50m13秒をチャレンジの企画を担当した。放課後遅くまで仕事をしたのは初めてだった。自分たちでアイデアを出し合ってより良い企画にすることができたと思う。そして、御幸祭当日、仕事を終えたとき達成感があった。だからこの先、こういうことがあるときは全力で頑張ろうと思えた。今回の御幸祭は1年生から3年生まで全員が何かの係につき、楽しむことができたと思う。だから御幸祭を頑張っていた生徒会の人たちはすごいと思った。自分がした仕事の経験を生かしていこうと思えた。

Be as one A組 T・A

御幸祭を振り返って、私は少し自分に自信が持てるようになったと思う。執行部に入り、毎日朝早く来て遅くまで残り、いろんなことを準備したり失敗しないように確認したりした。大変だったけど、苦とは感じず楽しかった。一番大変だったのは、撮影！みんなにバレないように、朝に撮ったり、違う場所に行ったり。御幸祭当日、執行部全員で、率先して会場を盛り上げることができたと思う。即興で畦地さんと黒宮さんが漫才をするのがすごいと思った。全校生徒の前で声を出すのは緊張したけど頑張れた。高校へ行ってもこういう仕事をしたい。